

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	○地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者の状況に応じ、理美容の訪問サービスを受けたり、慰問の受入を行い楽しんでます。 事業所独自の理念が作成され事務所・玄関へ掲示していますが、地域密着型サービスの役割に認識不足が感じられます。	○  管理者・職員は地域密着型サービスの役割と事業所独自の理念をより深く理解していかなければいけないと思います。
2	○理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員会議で話し合ったり、状況に応じその都度話し合い、理念を共有し日々の実践に取り組んでいます。	○  今後も理念を念頭におき、継続して取り組みます。
3	○家族や地域への理念の浸透  事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	玄関・事務所に理念を掲示しています。又、入居時等の利用者・家族に説明を行い理解を得ています。又、地域の方へは運営推進会議を利用し説明していますが、当事業所管内は町内会がない新興住宅街の為、各機関への働きかけや相談が必要と思われます。	○  事業所内に掲示している理念を誰が見ても見やすく分かりやすいようにします。又、徐々に交流する機会を増やしながら理解していただけるよう取り組みます。
4	○隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献  管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	散歩時、近所の方と気軽に挨拶を交わしたり、気軽に立ち寄っていただける様に心がけています。又、雷の災害時は近隣へ声掛けを行い、トラブルを回避出来る様支援行いました。しかし、地域の一員として、地元の人々と交流する機会が少ない様に思えます。 特定された利用者であります。近所のスーパーへ職員と一緒に買物のお手伝いをしていただいたり、近所のゴミ拾いを行ったりしています。 ヘルパー実習や慰問の受け入れを行い、個人情報に十分配慮をしています。	○  継続して近所の方と交流を図れるようにして行きたいと思っています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>			
5	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価・外部評価を理解し、全職員の協力のもと取り組みを行っています。又、外部評価の結果は職員会議を利用して話し合いをしたり、必要に応じてその都度話し合い、改善すべき点や今後のケアサービスに繋がるように取り組んでいます。	自己評価に取り組むことにより、初心に戻ることができたり、自分の反省点を気付いたりすることができるので、今後も全職員で話し合い継続して取り組みたいと思います。
6	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	極力定期的に運営推進会議を開催し、地域密着型として会議の必要性を説明行い、協力を得ています。又、自己評価・外部評価や行事の実施や予定の報告を行い、サービスの向上ができるよう助言や意見交換をしていただいています。	○ 地域住民や利用者家族の参加人数が少ない為、参加人数が増えるよう更なる努力する必要があります。
7	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	会議以外でも必要時は随時電話で相談したり、足を運び相談を行い助言や指導を受けています。又、直面する課題等があった場合は解決に向け話し合い取り組んでいます。 先日、ホームが雷の被害があった際、市の担当者がいち早く駆けつけてくれた事に対して有りがたく思い感謝しています。	今後も継続して気兼ねなく相談をして行きたいと思います。
8	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	実際利用者の方が成年後見制度を利用されていますが、法律の仕組みを熟知していないのが現状です。	○ 外部研修や事業所内での勉強会を利用し、職員全員が理解できるよう取り組みたいと思います。
9	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	職員間での話し合いや、知り得た情報をできる範囲で検索をし、どのような行為が虐待の定義にあたるのかを認識できるように努めています。	○ 虐待を発見した際の対応と報告の流れが分からないので、フロー図の作成が必要と思われます。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
10	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約にあたり、重要事項説明書や各契約書類の説明書を基に、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、納得できるよう十分な説明を行い、理解をしていただいています。</p>	<p>○</p> <p>今後も状況に応じて不安や疑問点に対し、納得できるよう継続して説明を行い理解を得られるよう取組んでいきます。</p>
11	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者から意見・不満・苦情があった際は傾聴し、必要に応じて問題点を職員間で話し合っています。</p>	<p>○</p> <p>今後も利用者の気持ちを考え対応できるよう取組んでいきます。</p>
12	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>家族の面会時や、利用料集金の際はホームでの暮らしぶりや健康状態（受診状況等）を報告しています。又、急用を要する場合はその都度連絡を行っています。 金銭管理は収支ノートを見てもらい確認していただいています。</p>	<p>○</p> <p>今後も継続し必要に応じてその都度連絡・報告を行います。</p>
13	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に苦情受付箱を設置しています。又、家族が意見・不満・苦情を気軽に言えるよう心がけています。</p>	<p>○</p> <p>意見・不満・苦情が出された場合は、全職員で話し合い、解決できるよう取組んでいきます。</p>
14	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月一回の職員会議や、毎日の申し送りで、職員の意見や提案を話し合っています。</p>	<p>○</p> <p>継続して出された意見や提案を職員間との話し合いで運営に反映させていきます。</p>
15	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>利用者の生活に支障ない勤務体制であり、家族の状況の変化や希望に対応しています。又、職員の急な休みには、代わりの職員がお互い様の気持ちで対応しています。</p>	<p>○</p> <p>今後も利用者の生活に支障のないよう努めていきます。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16 ○職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の移動は殆どなく、馴染みのある関係で支援させていただいています。又、退職や新しい職員を配置する場合は利用者へ説明しています。		出来る限り配置換えを行わず、馴染みのある関係を継続して支援させていただきます。
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
17 ○職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修に一人年五回受講参加を心がけ、研修参加後、職員会議にて報告・話し合いの場を設けています。又、内部研修として勉強会も行っています。	○	研修参加の目標に至っていないので、チャンスを活かし、勤務体制に支障のないよう積極的に参加していただくよう取り組みをします。
18 ○同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県・地区グループホーム協会へ加入し、研修参加等で同業者と交流の機会を持っています。又、ネットワークづくりに取り組み、得られた情報をサービスの質の向上に繋がるよう取り組みをしています。		今後も同業者との交流やネットワークづくりに継続して取り組み、サービスの向上に努めます。
19 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み  運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための良好な工夫や環境づくりに取り組んでいる	家庭の事情等に考慮し働きかけるように努めていますが、職員一人ひとりの悩みやストレスについて問われると十分でないです。又、休憩時間が定まっておらず、休憩場所が無い状態です。	○	職員の悩みは背景を理解し、軽減するための環境づくりを考えて行きたいです。 又、ゆっくり休憩できる場所の検討が必要と思われます。
20 ○向上心を持って働き続けるための取り組み  運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	運営者は、管理者を通し現場状況の他、職員の日々の努力や勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるよう努めています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
21	○初期に築く本人、家族との信頼関係  相談から利用に至るまでに本人、家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談者からの話を傾聴し、利用に至るまで話し合いをしています。又、家族の都合も考慮し迅速に希望に添った対応が出来るように努めています。	○  信頼関係を崩さないよう継続して努力します。
22	○初期対応の見極めと支援  相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた際、状況をできる範囲で把握し、緊急性があるかないかを見極め、他事業所とのネットワークを活用し、対応できるよう努めています。	○  現状の把握と適切な判断で相談者の不安を取り除けるよう努力します。
23	○馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人や家族が納得できるよう、相談の時点から意見や要望をできるだけ聞き入れています。又、利用前の施設の案内や場の雰囲気を感じていただいています。	○  今後も利用者が納得できるよう、家族と話し合いを継続して対応を行います。
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
24	○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	家族からの情報を得、利用者と一緒に過ごす事で一人ひとりの喜怒哀楽を感じ理解できるよう努めています。又、食事の下ごしらえ・洗濯畳み・食器拭き・食材の買出し等それぞれ得意分野を活かし手伝いを行っていただき、支え・助け合いながら生活をしています。	○  利用者と一緒に過ごす事により、自分の考え方の未熟さに気づき、感じる事ができる為、継続して利用者から力をいただけるように努力します。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族と利用者の情報交換を行い、双方の思いを伝えるようにしています。又、利用者本人がストレスを溜めず生活できるよう家族等にも支えていただき関係を築けるよう努力しています。	○	家族と共に利用者を支える関係を大切に今後も努めます。
26	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援  これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	利用者と家族の関係や、双方の思いを把握し、できる限り連絡調整を行い、より安心して暮らせるよう支援しています。又、事情を抱えている家族等に配慮し対応しています。	○	利用者と家族の絆を大切に思い、継続して家族の役割を活かし対応していきます。
27	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者がこれまで関わってきた方々の交流や、馴染みの場所を時には家族を通し、利用できるよう努めています。	○	今後も利用者が関わってきた方々等の交流がとぎれないよう継続して支援していきます。
28	○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士の人間関係を把握する事により、孤立やストレスのないよう状況に合った対応を行い、少しでも安心していただけるよう努めています。	○	それぞれ利用者同士の関係や個性を活かし、共に支え、助け合う事の大切さを感じて生活できるよう継続して支援していきます。
29	○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービス利用が終了しても、関わりを必要とされる家族を支え、必要とあれば相談に応じ、付き合いを大切にしています。	○	これまで築いてきた利用者や家族との関係を大切にし保ち続けるよう努めていきます。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1. 一人ひとりの把握</b>			
30	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の希望や意向の把握に努め、できるだけ希望に沿えるよう努めています。又、希望に沿えない場合は家族に相談し協力を得、職員間で話し合い、対応できるよう努めています。	
31	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	状況に応じてタイミングを図り利用者や家族から生活歴・個性・ライフスタイル・価値観等の把握に努め、プライバシーに配慮しながら、その人らしく暮らせるようサービスの提供に努めています。	○ 今後もタイミングを図り、利用者・家族からの情報と協力を得て更に生活環境の向上に努め、サービスの提供に取り組んでいきます。
32	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人ひとりの過ごし方・生活のリズムを把握して、それぞれできる範囲での軽作業を無理することなく負担にならないよう行っていただき、満足できるよう支援しています。	一人ひとりの有する力量等の観察を継続し、更なる現状の把握に努めていきます。
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
33	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者がその人らしく暮らし続けることができるように職員間で話し合い、必要に応じて家族等から情報・意見・要望等を取り入れ、利用者本意の介護計画を作成し家族へ説明しています。又、定期職員会議で一人ひとりのモニタリングを行い、介護計画作成に役立てています。	継続して家族や全職員の意見や気づきを取り入れ、その人らしい介護計画を作成していきます。
34	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の期間に応じて見直しを行い、必要に応じてその都度職員間で話し合い、その人に合った対応をしています。又、医療的急用を要する場合は、その都度家族へ連絡をし、医師へ状態報告を行い、指示を仰ぎ対応して、家族への連絡も行っています。	介護計画は職員全員がいつでも参照することができ、対応の統一性を継続して、必要に応じ状況に合った介護計画の見直しを行います。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
35	○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録は個別ケースへ、暮らしの状況・心身状況等を具体的に記録するように心がけ、その日の状況・経過・結果などを記録に残し、全員が情報を共有し見直しに活かしています。	○	今後も継続して職員全員で情報を共有し、実践に活かしていきます。又、記録は介護計画に沿った記載が少ないのが現状のため、全職員で確認しながら進めていきたいと思います。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
36	○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	グループホーム単独での対応は多機能性に限りがあるが、できる限り近所のスーパー・ショッピングセンター等へ外出の援助を行ない対応しています。又、利用者・家族の要望に合わせ柔軟な支援を行っています。	○	限りのある機能性に対して、当事業所独自のサービスの開発が検討されます。
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
37	○地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営推進会議を通じて民生委員や近隣の町内会長（現在当ホーム地域に町内会がない）との交流があり、又働きかけを継続する事により、駐在所長との交流ができつつあります。又、年二回の消防訓練や救命救急訓練を専門職より指導を受けて実施しています。ボランティア希望者の対応も利用者を考慮し受け入れています。	○	利用者が継続し安心して暮らすことができるよう他社会資源・地域資源を活用・参加できるように働きかけて行くことが必要と思われれます。
38	○他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	他事業所のケアマネジャーや各専門職等と必要に応じて情報交換や相談を行っています。グループホーム単独では他のサービス利用に限りがあります。	○	現状、他のサービスを利用する事ができないが、協力できるところがあるか検索・相談が必要と思います。
39	○地域包括支援センターとの協働  本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域福祉権利擁護事業の件に関しては包括支援センターの協力機関である社会福祉協議会より資料を取り寄せていますが、まだ利用に至ってません。又、成年後見制度の利用者あり、家族と連携し必要に応じて支払の代行や書類作成等を対応中です。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
40	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	○	<p>受診内容や結果は家族へ継続して報告し今後も医師・家族と連携して支援させていただきます。</p>
41	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		<p>今後も継続して、必要に応じた適切な治療を受けられるように支援します。</p>
42	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		<p>専門分野は看護師助言のもと協力し合い、利用者の日常的健康管理や医療活用の支援を継続します。</p>
43	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		<p>今後も状態に応じ、継続して取り組みます。</p>
44	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	<p>必要に応じ往診結果を家族へ報告及び確認し、継続して対応します。又、医師の指示を受け本人に合った医療を受けられるようにします。</p>
45	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	<p>今後も各医療機関や家族と話し合いの場を設け、本人の希望や家族の希望に向け納得できるよう最善を尽くし対応して行きたいと思います。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
46	○住み替え時の協働によるダメージの防止  本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	移り住む際は、家族と本人や各関係機関で話し合いし、出来るだけ本人が納得されるよう説明しています。又、情報提供をお互い行ったり、家族から情報を得たり、受診先で出合ったりして声掛けを行っています。	○	本人のダメージを最小限にするため、家族等の協力を得て継続して働きかけ取り組んでいきます。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>				
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>				
47	○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの思いを配慮した上で声掛けを行い、本人の言葉を尊重する対応を心がけ、言動を拒否することのないようにしています。 職員は個人情報について理解し、個人記録は事務所で管理しています。又、ボランティアや研修生にも個人情報の保護について説明し理解を得てもらっています。	○	職員も心にゆとりを持ち、話し合いながら利用者一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねないように対応していきます。
48	○利用者の希望の表出や自己決定の支援  本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者の表情や言葉等から本人の思いや希望を把握し、一人ひとりのペースに合わせて説明し、自己決定していただき納得してもらいながら生活できるよう支援しています。	○	今後も自己決定ができるよう、簡単な選択肢も交え継続して対応していきます。
49	○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の一日のペースやその日の体調を考慮し、言動を急がすことなく、希望や心身の状況に合わせて柔軟な支援をしています。	○	その人らしい生活をしていただく為、業務を優先し利用者を後回しにしないよう継続して努めていきます。
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>				
50	○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	希望に応じて理美容室へ出かけたり、業者へ依頼して来ていただいたりして対応しています。 身だしなみを大切にし、衣類・整容の乱れにはさりげなくサポートし個性や希望を尊重して支援しています。	○	その人らしさを大切に同じ服装にならないよう継続し支援します。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
51	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と普段の会話で希望や好みを取り入れ、マナー化しないよう食事の提供をしています。又、職員も利用者と一緒のテーブルで食事をしたり、食べこぼしやむせ込み等へのサポートを行いながら会話を楽しむようにしています。その人の能力に合わせ調理の準備や食器拭きを行っています。	○	今後も状況に応じて、食の楽しみを考えながら柔軟な姿勢で対応していきます。
52	○本人の嗜好の支援  本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	利用者の好きなもの・嫌いなものを把握し対応しています。又、喫煙の危険性を考慮し対応している人もいます。	○	今後も会話の中から、何が好きなのか聞き入れ柔軟な姿勢で対応していきます。
53	○気持ちよい排泄の支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	必要な利用者に対しては排泄表に記入し、排泄パターンを全職員が把握でき、出来る限り事前にトイレ誘導を行い対応しています。又、対応時は他利用者の方へ気付かれないよう心掛け対応しています。	○	寝たきりの方も、日中は出来る限りトイレで排泄できるよう支援し対応していきます。
54	○入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週四回の入浴日があり、本人の状況や希望に沿って対応しています。又、入浴を拒んだりされる方には無理をせず、時間を空けて再度声掛けを行ったり、清拭や足浴等で対応しています。	○	今後も入浴に対して少しでも拒むことがないよう状況を判断しながら声掛けを行い、入浴する事で少しでも安らげられるよう支援していきます。
55	○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人ひとりの生活リズムの観察や、助言を行い、眠れない方へは状況に応じ専門医へ受診し、相談にて指示を受け、眠剤服用の調整を行っています。又、眠剤服用に対してのリスクも職員間で話し合い、統一した対応をしています。薬に依存している方へは偽薬で対応することにより安心して眠れるよう支援しています。	○	一人ひとりどうしたら安心して眠れるようになるかを話し合い、その人にあった対応をしています。
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
56	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の生活歴や希望・力量を把握し、一人ひとり合った塗り絵・箱づくり・将棋・歌を唄う・洗濯物を畳む・料理の下ごしらえ・食器拭き・パソコン入力・好きなテレビ番組を観る等を楽しんでいます。	○	心身に無理のないよう今後も支援していきます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者の力量に合わせ自己管理をしていただき、必要物品の代行購入にて出し入れされている方や、行事で出かけた時、自分でお金の出し入れをし購入されている方もいます。又、自分で管理ができない方へは、家族の同意を得て事務所で管理し、収支が分かるよう全て記入しレシートを保管し何時でも家族に見ていただけるようになっています。	○	お金を所持してることで安心感を抱いている為、家族も納得のうえで出来る範囲で自己管理を行っていただき支援していきます。
58	○日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の希望や体調・天候を考慮し、気分転換に繋がるよう散歩や買物に出かけています。		利用者の希望が少しでも叶い、気分転換ができるよう取り組み支援します。
59	○普段行けない場所への外出支援  一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	本人や家族の要望等で外出・外泊はその都度対応しています。又、レクリエーション活動でドライブや外食の計画をたて、出来る限り全員で出かけ、利用者や職員も一緒に楽しんでいます。	○	遠いところも、近いところも計画を立てたり、天候によってはその場の判断で出かけたり、今後も皆で楽しめるように支援していきます。
60	○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者から希望があった際は状況に応じて対応しています。又、判断に困った際は家族に確認をして支援しています。		電話をする事で安心できる事があれば今後も継続してできる範囲で対応していきます。
61	○家族や馴染みの人の訪問支援  家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも気軽に面会ができるようになっています。又、家族等が宿泊の希望があった際も出来る限り対応できるようにしています。		今後もいつでも訪問できるよう雰囲気作りを行います。
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
62	○身体拘束をしないケアの実践  運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員全員が身体拘束について理解し、家族にも説明を行い実践しています。又、精神的拘束も行わないようにしています。しかし、やむを得ず身体拘束をしなければいけない時の契約の書類はあえて整備していない。職員間で拘束しなくても対応できる状況に合ったアイデアを考えています。	○	今後も身体・精神的拘束はできる限り行わない方針です。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関に施錠することなく、利用者や家族等が何時でも出入りができる状態です。又、無断で外出される利用者へは、職員と一緒に付き添い、他職員とも連携を取り対応しています。	○	外出傾向にある利用者には今後も全職員で対応できるようにし、近隣の方からも協力を得れるよう働きかけを行ってまいります。
64	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	夜間は職員が見守りやすい場所で様子観察を行い、日中自室で過ごされる時間が多い利用者に対しては時間をみて、さりげなく声掛けを行っています。		利用者のプライバシーに配慮し、安全確認及び把握に努め、継続して取り組んでいきます。
65	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	その人の管理能力に応じて自己管理をいただいています。又、状況に応じて事務所管理や鍵のかかる場所へ保管しています。		利用者の管理能力が危ぶまれた際は、その都度職員間で話し合い、状態に合った管理体制を継続して取り組んでいきます。
66	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	職員会議や必要に応じて、その都度本人の状況を見極めながら職員間で話し合い、利用者の想定される事故等について対応できるようにし、事故発生時はヒヤリハット・事故報告書にて全職員へ周知し、再発防止へ繋がるように取り組んでいます。	○	更なる再発事故防止への取り組みを考え、職員自身もゆとりのある生活をし、余裕のある勤務体制で対応できるための取り組みをしていきたいです。
67	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	年二回、救急救命士から救命救急訓練の指導を全職員が受け訓練を行っています。又、AED・バックマスク・吸引器を設置済みで、使用方法の指導も受け訓練を行っています。	○	年二回の救急救命訓練（心肺脳蘇生法）は必ず指導を受け継続して訓練を行います。
68	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年二回の消防訓練（春は日中・秋は夜間を想定）を行っています。又、非常口には簡易スロープを設置しました。 日頃より、地域の協力を得られるまでは至っていない。	○	定期消防訓練を行う事で、不備なものや必要な物を整備する必要があります。又、地域への働きかけや、災害時に備えて食料や物品等準備が必要と思われます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
69	○リスク対応に関する家族等との話し合い  一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	起こり得るリスクについて、必要に応じて専門医受診にて状況報告と相談を行い、必要に応じて家族への報告や連絡調整にて同行受診し、先生から詳しく説明していただいたり、今後の必要な医療行為等を相談し、家族の理解を得て状況に合った対応を行っています。	○	今後も状況に応じ家族から理解を得られるようその都度報告や説明を行い、その人に合った生活ができるよう支援していきます。
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>				
70	○体調変化の早期発見と対応  一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタルチェック状態を把握し、本人からの訴え時等に心身の変化がないか、異変の早期発見に努めています。又、状態等の変化を記録し情報を共有して、様子観察し状況に応じ速やかに受診できるよう努めています。	○	精神的不安定になっていることも考慮し、職員間で話し合い、体調等の変化を早期に発見し、必要に応じて受診や家族へ状況の説明を継続して対応していきます。
71	○服薬支援  職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの薬は専用ケースに入れ管理され、処方箋は個人ファイルへ添付し、古い物は専用ファイルへ綴り、職員が何時でも確認できるようになっています。又、内服薬変更時は申し送り等で全職員へ周知できています。又、その後の様子観察で医師や家族へ報告しています。内服薬を手渡す際は名前を確認し服用の確認をおこなっています。		今後も継続して内服薬の管理・把握・服用の確認を行っていきます。
72	○便秘の予防と対応  職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘の及ぼす影響や原因については全職員が理解するまで至っていない。 自分で排泄できない利用者に対しては、その人に合った排泄表を作成・記入管理をして活用し、トイレ誘導を行い自然排泄を目指し取り組んでいます。又、散歩していただくよう声掛けを心がけています。	○	今後も身体を動かすよう働きかけ、取り組み、便秘傾向の利用者の方に対して肛門刺激に頼らず自然排便ができるよう検討していきます。
73	○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	一人ひとりに合った声掛けや洗面所への誘導を行い、必要によって一緒に洗浄を行ったり、義歯洗浄剤を使用したりしています。又、自ら行えない場合は、専用ブラシを使用し口腔内の清潔が保たれるよう支援しています。		今後も一人ひとりに合わせた対応を継続し支援していきます。
74	○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	現在、糖尿病と胃ろう造設された利用者が居て、医師の指示のもと、個別に応じた対応を行い栄養バランスを考えて提供しています。 水分量については必要に応じて排泄表と組み合わせた表に記入し把握をしながら行っています。		今後も継続して水分量の把握や栄養バランスの良い食事を提供していきます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	外部研修に参加された職員が定期会議で全職員へ周知し話し合いをしたり、対応マニュアルも整備中で、必要に応じ事務所内等へ掲示しています。又、行政等からの最新情報を閲覧できるようになっています。	○	作成されたマニュアルを活用し継続して対応していきます。又、必要に応じてマニュアル作成に取り組んでいきます。
76	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	必要な調理器具は夜勤帯で毎日消毒を行っています。又、食材はこまめに買出しを行い、賞味期限に注意し、新鮮な食材を使用するようにしています。		継続して食中毒防止に取り組めます。
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
77	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	春から秋にかけて玄関の周りに花や野菜を植えたり、ブルーベリーの挿し木を沢山つくり、近所の方や家族・来園者へ無料で提供しています。又、冬季はイルミネーションを飾って工夫し、家庭的な雰囲気になるよう心がけています。	○	今後も親しみやすい雰囲気作りを継続して工夫していきます。
78	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合った装飾を利用者と一緒に無理せず作成しています。又、リビングには調度品をさりげなく置いたりしています。又、テレビの音量もさりげなく対応したり、職員も心がけ不快な音をたてないようにしています。	○	共有の空間については、昔使っていた者をさりげなく飾り、できる限り家庭的な雰囲気でき、より良い空間を作れるよう継続して取り組んでいきます。
79	○共用空間における居場所づくり 共用空間の中には、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間にはソファや畳・掘りごたつがあり、それぞれが好きな場所で過ごしています。	○	利用者は居心地が良い場所で過ごされ、利用者同士が団らんできるよう継続して取り組んでいきます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
80	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 せるような工夫をしている	出来る限り家族の協力のもと、以前から使用 していた使い慣れ馴染みのあるものを使用していた だき、本人が安心して居心地が良く過ごせれるよ う対応しています。		今後も本人が居心地良く過ごせれるような工夫 をして継続して家族の協力を得て対応していき ます。
81	○換気・空調の配慮  気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	ホーム内に温度・湿度計を設置し、ストーブ・ 加湿器を調整して対応しています。又、自室を締 め切りにされている方へはさりげなく声掛けを行 い、空気の入替えに心がけて対応しています。	○	継続して温度・湿度の管理に努め、必要に応じ て換気を行い空気のだよみがないよう努めていき ます。
<b>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
82	○身体機能を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	ホーム内適所に手すりが設置され、移動や移乗 がスムーズに行えるように配慮され、その人に 応じて支援しています。又、椅子から立ち上る さいスムーズに動作が行えるよう椅子に工夫 をして支援しています。	○	一人ひとりの身体の状態に合わせた環境改善 の工夫をして、継続し整備できるよう対応して いきます。
83	○わかる力を活かした環境づくり  一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように 工夫している	一人ひとりの状態を把握し、適所に分かり やすく見えやすいように掲示し、混乱や失 敗を防ぎ自立した生活を送れるよう支援 しています。又、一人ひとりの過ごす場 所があり、マイペースで過ごされて います。		一人ひとりに合った環境づくりを心がけ、 継続して工夫して対応していきます。
84	○建物の活用  建物を利用者が楽しんだり、活動でき るよう活かしている	玄関先の花のプランターやプランター での野菜作り等を出来る限り水やりを行 ったり楽しんでいます。又、リビングの 熱帯魚に餌をやったり見ている は楽しんでいます。	○	その他にも利用者がその人らしく楽し んで暮らせるよう取組んでいきます。

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
85	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
86	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input checked="" type="radio"/> ①毎日ある <input type="radio"/> ②数日に1回程度ある <input type="radio"/> ③たまにある <input type="radio"/> ④ほとんどない
87	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
88	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
89	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
90	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
91	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
92	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> ②家族の2/3くらいと <input type="radio"/> ③家族の1/3くらいと <input type="radio"/> ④ほとんどできていない
93	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input checked="" type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
94	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input checked="" type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
95	職員は、生き活きと働いている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
96	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
97	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**  
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

各利用者様の状況に応じ毎日楽しく気持ちよく過ごしていただく為に一人ひとりのペースに合わせ、時間や規則に囚われない押し付けのない生活を送っていただけるようサービスを展開して取り組んでいると思います。例えば、帰宅願望のある利用者様へは全スタッフが統一した声掛けを行い、快く泊まっていただけるよう働きかけたり、歩行や立ち上がりの不安定のみられる利用者様へは転倒防止を図るためすぐ対応し、阻止出来るよう食事席を替えたり見守りや状態に応じた対応を行っています。又、経済的に乏しい利用者様へはなるべく負担にならないよう等施設内で賄えるものは賄ったりと当たり前の事であると思われるが、全スタッフが情報を共有し、問題に突き当たった際は相談し合い、やってみようとするすぐ行動に移し、行えていることはすごいことだと思っています。サービスをしていく上での原点的な事ですが、忘れる事なく取り組んでいる事に誇りを感じています。スタッフも嫌がる事なく、常に利用者様を第一に考えながら取り組み、そして常に前向きであり、自分も頑張らなくては！と活力が満ちてくる職場です。助け助けられ、楽しく仕事に取り組んでいます。